

西尾市事務評価シート

事務No.	18-009	事務内容	公共施設管理、再配置関係				
総合計画施策コード		事務開始年度	平成29年度		担当課名	家庭児童支援課	
予算科目	03款 02項 03目	大事業	51	中事業	00		
事務事業名 (中事業名)	公共施設再配置第1次プロジェクト事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	公共施設再配置第1次プロジェクト事業による公共施設の維持管理、施設改修を行なうため
事務の対象 (誰(何)のために)	公共施設の管理、改修のため
事務の概要 (具体的に何を)	家庭児童支援課の所管する公共施設の維持管理及び公共施設再配置第1次プロジェクト事業による維持管理業務委託のモニタリング 公共施設再配置第1次プロジェクト事業による施設改修の設計協議

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	0円	107,279,000円	18,645,000円
人 工	0.1人	0.1人	0.1人
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	707,298円	107,989,461円	19,363,991円
財源内訳③ の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	707,298円	107,989,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	107,282,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	15167.89%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	平成29年度から公共施設再配置第1次プロジェクト事業による維持管理業務、施設改修が始まったため。		
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	委託料	施設改修費	106,974,000円
	委託料	維持管理	304,938円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	子育て・多世代交流プラザ利用者数 (H29は子育て支援センター移転後分)					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	自主事業参加者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
			47,136円		1,291円		

●事業の終期

事務No. 18-009

事務の終了時期	平成43年3月	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価			
	妥当性	市が実施することが適当であるか		4	効性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4	公平性	事務時間は適切なものになっているか	4	
	妥当性	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		公平性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4		公平性	受益者に偏りはなく、また、受益者負担の割合は適切か	4
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4	公平性	受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4
	評価の総合的なコメント		全体的に適正である。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。					
	(理由)	公共施設再配置計画の見直しが行われ、療育センターに改修予定だった旧子育て支援センターいっしきの施設の解体が検討されている。					
民間委託又は市民協働拡大の方向性	P F I 事業						
事務全体の課題	一色地域文化広場の3館包括の指定管理による運営業務により施設の設置目的である幅広い世代のふれあいを通じて、次代を担う子どもを育む環境づくりと地域の活性化がどれだけ図れるかが課題である。						

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	運営モニタリングにより、随時確認していく。
--------	-----------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	18-053	事務内容	子育て支援サークル協議会に関すること				
総合計画施策コード	311	事務開始年度	平成14年度		担当課名	家庭児童支援課	
予算科目	03款 02項 03目	大事業	04	中事業		00	
事務事業名 (中事業名)	地域子育て支援拠点事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾子育てサークル協議会へ子育てグループ支援事業を委託
事務の対象 (誰(何)のために)	子育てサークルの活動支援
事務の概要 (具体的に何を)	子育てに関する講習会などの実施やサークル活動の活性化を目的とした、子育てグループ支援事業の実施を西尾子育てサークル協議会に委託する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	513,180円	503,000円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	1,220,478円	1,213,461円	718,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	1,220,478円	1,213,461円	718,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-7,017円	H29 総事務費③の対前年度比率	-0.57%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	子育てグループ支援事業	503,425円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	子育てグループ支援事業 講師派遣回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		43 回		39 回		0 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	子育てサークル協議会のサークル数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		12 組		10 組		0 組	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		28,383円		31,114円		0円	

●事業の終期

事務No. 18-053

事務の終了時期	平成29年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目	評価	評価項目	評価		
	妥当性	市が実施することが適当であるか		4	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか
評価	妥当性	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4	効率性	事務時間は適切なものになっているか	4
	妥当性	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4	効率性	事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4
	有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3
評価	有効性	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4	公平性	受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3
	有効性	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4	公平性	サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント		年々子育てサークル協議会に加入しているサークルによる活動は活発に行われていたが、協議会加入団体数が減ってきてしまった。				
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	今後、サークル協議会加入団体が解散や協議会脱退をすることになり協議会として成り立たなくなるため平成29年度末で協議会を解散することになった。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	民間委託事業					
事務全体の課題	子育てサークル協議会の解散により、子育てサークルへの支援策がひとつなくなってしまった。子育て支援センターでの支援のほかにもサークル支援策を検討する必要がある。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	ふれあいセンターなどで独自に活動している子育てサークルの情報などを毎年発行している子育てガイドで提供できるようにしていきたい。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	課題にもあるとおり事務廃止による市民サービスの低下が起こらないような対策を考えていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	18-060	事務内容	おやつ代徴収に関すること				
総合計画施策コード	311	事務開始年度	平成24年度		担当課名	家庭児童支援課	
予算科目	03款 02項 03目	大事業	06	中事業			
事務事業名 (中事業名)	療育センター運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	療育中に提供するおやつを購入するため、おやつ代の管理・徴収を行う。
事務の対象 (誰(何)のために)	療育センター通所利用者
事務の概要 (具体的に何を)	療育センター通所利用者の保護者から毎月おやつ代を徴収し、おやつを購入する。また、代金を差引簿で管理する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	0円	0円	0円
人工	0.1人	0.1人	0.0人
人件費②	707,298円	710,461円	0円
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	0円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	707,298円	710,461円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	なし		

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	おやつ購入金額					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		310,561	円	287,657	円	23,000	円
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	おやつ時間を含む療育への参加人数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		3,926	人	4,161	人	230	人
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		2円		2円		0円	

●事業の終期

事務No. 18-060

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	H30. 4. 1
事務の終了時期が未定の場合の理由	終了の予定はないが、平成30年度から通常の療育活動でのおやつを廃止し、クリスマス会の時のみ提供することとした。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	全体的に適正である。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	療育活動中に毎回おやつを提供する必要はないと判断し、保護者負担及び事務の軽減を図ることとする。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	いずれも予定なし。					
事務全体の課題	毎月おやつ代を支払うことが保護者の負担となる。また、代金の徴収・管理事務及びアレルギー対応食を含めたおやつの準備にかかる職員の負担も大きい。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	療育活動中におやつを提供している近隣市はない。
---------------	-------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成30年度から通常の療育活動でのおやつ提供を廃止して、クリスマス会の時のみの提供とする。
--------	---

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---------------------------